

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	芸術:絵画基礎(選択)	単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	日本画や水彩画、イラストレーションを中心とした美術や、その美術文化と関わる基礎的な資質・能力を育成するとともに、それらを活用して自らの人生を豊かにする態度を養う。		
使用教材	絵の具セット、スケッチブック、その他の画材		
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	対象や事象を捉える基礎的な造形的視点を理解し、表現方法を創意工夫して創造的に表現するとともに、美術文化と関わる基礎的な知識を理解している。	感性や想像力を働かせて造形的なよさや美しさ、表現の創意工夫などについて考え、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に美術の活動に取り組むとともに、美術文化に親しみ、自らの人生を豊かにしようとしている。
評価方法	主体的に学習に取り組む態度の観点については、ねらいや留意点を意識して主体的に作品制作に取り組むことができたか、その他の観点については、作品の完成度や作品の完成まで計画的に進められたか、表現の意図や制作方法を理解し、用具を適切に使用できたかといった内容を踏まえて総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・素描の基礎を学ぶ。 ・日本画の基礎(前半)を学ぶ。 ・生徒相互による作品鑑賞を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方や削り方、空間把握の方法など、素描の基礎を学習するとともに、静物の素描をとおして観察力と描写力を高める。 ・墨や筆、岩絵の具などの日本画特有の画材について学習するとともに、墨や岩絵の具で描写する基礎的な実技をとおして、日本画の表現や技法を理解する。 ・相互に作品を講評し合いながら鑑賞を行い、美術的な感性を高める。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画の基礎(後半)を学ぶ。 ・水彩画の基礎を学ぶ。 ・生徒相互による作品鑑賞を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・墨や岩絵の具で描写する実技をとおして、日本画の表現や技法を幅広く理解し、伝統芸術への関心を高める。 ・水彩絵具の特徴を理解し、静物画や心象画の制作、代表作品の模写をとおして、構図、色彩、主題など絵画の表現や技法を高める。 ・相互に作品を講評し合いながら鑑賞を行い、美術的な感性を高める。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションの基礎を学ぶ。 ・生徒相互による作品鑑賞を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションの制作をとおして、意図に応じた形体、材料、素材などについて理解し、それらを加工することの楽しさを味わう。 ・相互に作品を講評し合いながら鑑賞を行い、美術的な感性を高める。 	
学習上の留意点	絵の具など、画材費が必要となる。		